

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	民生委員児童委員経費			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●		●
事業対象	町民	目的	地域福祉の向上と福祉行政の円滑化を図る。			
事業概要	住民と行政のパイプ役である民生委員児童委員の活動に関する経費					

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	01	大事業 0004 民生委員児童委員経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		4,502		4,504	4,490	4,586
	概算人件費		2,976		2,941	2,493	2,493
	トータルコスト		7,478		7,445	6,983	7,079
	国庫/県支出金		3,058		3,123	3,116	3,165
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員		0.58人		2,493千円		/
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		人		千円		
	その他		人		千円		
	合計				2,493千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 役員会の実施回数（回）	12	12	12	12	12
② 定例会の実施回数（回）	12	12	11	9	12

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域福祉の充実	4.13	2.99
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 民生委員児童委員の活動により、見守り等の支援が必要な住民への援護ができています。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	団体育成事業			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		●
事業対象	町民・団体	目的	団体等への助成により、社会福祉の向上を図る。			
事業概要	各種団体の事業運営に対して助成を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	01	01	大事業 0003 団体育成事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	575	345	355	626	
	概算人件費	4,488	3,618	3,335	3,335	
	トータルコスト	5,063	3,963	3,690	3,961	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.37 人		1,709 千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.9 人		1,626 千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,335 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 補助件数（件）	4	4	4	4	5
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	2.99
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	団体等への助成により、社会福祉の向上に繋がった。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	社会福祉関係事業(緊急一時保護施設拡充支援)			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●				
事業対象	町民	目的	DVによる被害者を救済する。			
事業概要	民間シェルター等一時保護施設への入所を支援する。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	01	大事業 0001 社会福祉関係事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		0		0	0	0
	概算人件費		214		439	446	446
	トータルコスト		214		439	446	446
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員		0.06人		259千円		/
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		0.1人		187千円		
	その他		人		千円		
	合計				446千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 一時避難所協定数	2	2	2	2	2
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	相談・情報提供の充実	4.04	2.94
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 県等との連携により一時保護施設への入所支援ができています。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	社会福祉関係事業（町社会福祉協議会）			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町社協・団体・町民	目的	町の福祉施策を進める上で重要となる社会福祉協議会との協力・連携を深めることで、福祉サービスの充実を図り、役割分担のもと事業の実施や助成を行う。			
事業概要	町社協との定例会実施・町社協補助金					

事業予算							
会計	1	款項目	3	1	1	大事業 0001 社会福祉関係事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		14,596		14,527	160,032	17,383
	概算人件費		456		751	751	751
	トータルコスト		15,052		15,278	160,783	18,134
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員			0.14人		751千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					751千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	町社協への補助金の交付（円）	13,193,000	13,193,000	13,158,000	13,113,000	13,053,000
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	二宮町社会福祉協議会との協力・連携	3.79	2.98
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 社会福祉協議会との協力・連携により支援が必要な人への福祉サービスの充実を図ることができた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	障がい福祉サービスの普及・啓発			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民・団体	目的	障がい者が安心して暮らすことのできる町づくりを進めるため、障害福祉サービス等のに関する情報提供の促進を図る。			
事業概要	パンフレットやポスター等の作成・配布。併せて、HP等による広報の実施。					

事業予算						
会計	款項目	大事業				
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算額	R4決算見込	
直接事業費	概算人件費	773	575	575	575	
	トータルコスト	773	575	575	575	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.16人		575千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			575千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	すべての人が共に生きる社会基盤づくり	4.19	2.91
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	パンフレットやポスターの外、広報での特集記事掲載やHPによる情報提供の促進を図った。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	在宅障がい者援護事業 ※			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●	●		●
事業対象	町民・団体	目的	在宅の身体・知的・精神障害者に各種の補助事業を展開することにより、自立更正の一助に努め、併せて障害者とその家族の経済的軽減を図る。			
事業概要	在宅で生活を送る障がい者に対する各種福祉制度の利用助成や、障がい者を支える団体等の育成及び障がい者の支援を行うことで、福祉の増進を図る。					

事業予算						
会計	001	款項目	03	01	03	大事業 0001 在宅障がい者支援事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	15,054	11,782	11,870	15,549	
	概算人件費	3,098	1,763	1,429	1,429	
	トータルコスト	18,152	13,545	13,299	16,978	
	国庫/県支出金	1,372	721	863	863	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.39人		1,429千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,429千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 手話通訳者養成講習会の参加者数【戦略】(人)	22(10) ( )はコロナ想定	14	0 コロナに伴い中止	7	10
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 その人らしい生活への支援	4.08	2.89	
2 療育・教育の充実、就労への支援	4.20	2.79	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	
<p>重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく</p> <p>重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い</p> <p>維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく</p> <p>改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要</p>			

分析						
分析の視点	高い	←→			低い	
		5	4	3	2	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	在宅障害者への各種支援により、福祉の増進が図られた。コロナの影響にて一部事業を中止した。社会情勢に見合った在宅障害児者福祉手当を引き続き検討する。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	障がい者医療費給付補助事業 ※			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			●
事業対象	町民	目的	障がい者に対して医療費の一部を助成し、保健の向上に寄与するとともに更正を助長し、福祉の増進を図る。			
事業概要	重度障害者を含む一定以上の障害者手帳取得者に対し、福祉医療証を発行し、医療費の一部を助成する。					

事業予算							
会計	001	款項目	03	01	03	大事業 0003 障がい者医療費給付補助事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費	101,585		100,344		96,620	111,097
	概算人件費	1,214		1,879		1,850	1,992
	トータルコスト	102,799		102,223		98,470	113,089
国庫/県支出金		21,101		21,362		20,003	20,003
その他		0		0		0	0
R3概算人件費	正規職員			0.52人		1,850千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					1,850千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 医療費助成対象者数（人）	413	413	407	392	392
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	その人らしい生活への支援	4.08	2.89
2	療育・教育の充実、就労への支援	4.20	2.79
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	障害者の医療費助成により、福祉の増進が図られた。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	障がい者緊急時対応経費 ※			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		●
事業対象	町民	目的	特に身寄りのない知的障がい者等、判断能力が十分でない方を法律的に支援する成年後見人を町長申し立てで申請する費用。			
事業概要	申し立てに係る各種手続き、及び後見人等選任後の報酬について負担する。 その他、緊急対応に要する費用。					

事業予算						
会計	001	款項目	03	01	03	大事業 0004 障がい者緊急時対応経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	0	0	7	916	
	概算人件費	141	0	141	0	
	トータルコスト	141	0	148	916	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.04 人		141 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			141 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 対象者数（人）	1	0	0	1	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 その人らしい生活への支援	4.08	2.89
2 療育・教育の充実、就労への支援	4.20	2.79
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 現状では町長申立数は少ないが、今後件数が増加する可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			



基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	国民健康保険趣旨普及事業			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	国民健康保険趣旨普及のためのパンフレット作成			
事業概要	国民健康保険の趣旨普及のための経費					

事業予算						
会計	002	款項目	01	04	01	大事業 0001 国民健康保険趣旨普及事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算見込
	直接事業費	339	345		345	345
	概算人件費	918	941		894	894
	トータルコスト	1,257	345		1,239	1,239
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 3 概算人件費	正規職員	0.19 人		894 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			894 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	納税通知書にパンフレットを同封することで国民健康保険の主旨を周知することができた。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	国民健康保険運営事務事業			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象		目的	旅費、消耗品、印刷製本費、通信運搬費、手数料			
事業概要	国民健康保険全般における運営経費					

事業予算						
会計	002	款項目	01	01	01	大事業 0001 国民健康保険運営事務事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算見込
	直接事業費	8,872	7,774		8,633	8,602
	概算人件費	4,243	7,336		7,332	7,332
	トータルコスト	13,115	7,774		15,965	15,934
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 3 概算人件費	正規職員	1.87 人		7,332 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			7,332 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 国民健康保険における適正な事務を遂行した。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	国民健康保険税賦課徴収事業			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	目的	印刷製本費、通信運搬費、口座・コンビニ振替手数料				
事業概要	国民健康保険における国保税賦課徴収に係る経費					

事業予算						
会計	002	款項目	01	01	01	大事業 0001 国民健康保険税賦課徴収事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費	2,934	2,122		2,032	2,464
	概算人件費	7,131	4,987		4,812	4,812
	トータルコスト	10,065	2,122		6,844	7,276
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R3概算人件費	正規職員	1.04人		3,881千円		
	再任用職員	0.6人		931千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			4,812千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 現年収納率（%）	-	93.65	94.09	93.38	93.38
② 過年収納率（%）	-	25.74	17.91	25.00	25.00

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 国民健康保険に係る適正な賦課徴収事務を遂行した。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	後期高齢者医療保険運営事業			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象		目的	旅費、印刷製本費、レセプト点検手数料、共同システム負担金			
事業概要	後期高齢者医療に係る円滑な運営事務遂行のための必要経費					

事業予算							
会計	003	款項目	01	01	01	大事業 0002 後期高齢者医療保険運営事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		2,692		4,139	3,630	3,536
	概算人件費		3,246		3,300	3,480	3,480
	トータルコスト		5,938		4,139	7,110	7,016
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員		0.79人		3,480千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		人		千円		
	その他		人		千円		
	合計				3,480千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	後期高齢者医療における適正な事務を遂行した。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	後期高齢者医療保険料徴収事業			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	高齢化の加速に伴い、今後益々の被保険者増が見込まれるため、保険料収納率の向上に努め、安定した制度運営を図る。			
事業概要	後期高齢者医療保険料に係る徴収事務遂行のための必要経費					

事業予算							
会計	003	款項目	01	02	01	大事業 001 後期高齢者医療保険料徴収事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		1,372		1,007	1,095	1,317
	概算人件費		4,464		4,163	4,361	4,361
	トータルコスト		5,836		1,007	5,456	5,678
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員		0.85人		3,740千円		
	再任用職員		0.4人		621千円		
	会計年度任用職員		人		千円		
	その他		人		千円		
	合計				4,361千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 現年分収納率（%）	-	99.70	99.47	99.50	99.50
② 過年度分収納率（%）	-	35.29	30.12	30.00	30.00

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	後期高齢者医療に係る適正な賦課徴収事務を遂行した。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	戦没者追悼事業			所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	先の大戦などで亡くなった戦没者の参列とともに町民の参列も募り、川勾神社慰霊塔前において、戦争犠牲者に対して追悼の誠を捧げる。			
事業概要	追悼行事の開催					

事業予算						
会計	001	款項目	03	041	01	大事業 0005 戦没者追悼事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
		直接事業費	313	0		379
		概算人件費	423	182		182
		トータルコスト	736	182		561
		国庫/県支出金	0	0		0
		その他	0	0		0
R3概算人件費		正規職員	0.04人		182千円	
		再任用職員	人		千円	
		会計年度任用職員	人		千円	
		その他	人		千円	
		合計			182千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 追悼事業の開催（回/年）	1	0	0 コロナに伴い中止	1	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 人権・平和の推進	3.71	2.98
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 遺族の高齢化が進み、式典の在り方について検討を行ったが、遺族からは、例年通りの開催の要望が強い。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			